

# JIS

## 圧力配管用炭素鋼鋼管

JIS G 3454 : 2007

(JISF)

平成 19 年 5 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	木原 諄 二	東京大学名誉教授
(委員)	磯村 陽 治	社団法人日本鉄道施設協会
	大河内 春 乃	東京理科大学
	大橋 守 守	社団法人日本鉄鋼連盟
	小澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	加藤 碩 碩	ステンレス協会
	亀井 康 夫	住友金属工業株式会社
	北田 博 重	財団法人日本海事協会
	國府 勝 郎	首都大学東京
	近藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	佐久間 健 人	高知工科大学
	利田 修 一	高圧ガス保安協会
	本田 知 己	新日本製鐵株式会社
	山内 学 学	株式会社神戸製鋼所
(専門委員)	福永 敬 一	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 37.3.1 改正：平成 19.5.20

官 報 公 示：平成 19.5.21

原 案 作 成 者：社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員会長 木原 諄二)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	2
4 製造方法	2
5 化学成分	2
6 機械的性質	3
6.1 引張強さ、降伏点又は耐力、及び伸び	3
6.2 へん平性	3
6.3 曲げ性	4
7 亜鉛めっきの試験特性	4
8 水圧試験特性又は非破壊試験特性	4
9 寸法、質量及び寸法許容差	5
9.1 寸法及び単位質量	5
9.2 寸法許容差	5
10 外観	7
11 試験	7
11.1 分析試験	7
11.2 機械試験	7
11.3 亜鉛めっき試験	9
11.4 水圧試験又は非破壊試験	9
12 検査及び再検査	9
12.1 検査	9
12.2 再検査	10
13 表示	10
14 報告	10
附属書 JA (規定) 特別品質規定	11
附属書 JB (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	12
解 説	16